



三種町土地改良区合併予備契約調印式

平成23年3月3日(木)三種町役場本庁に於いて、「三種町土地改良区」の設立に向けた、三種町の2土地改良区(三種町鶴川、三種町泉八日)による合併予備契約調印式が行われた。

平成20年9月に、各種事業の円滑な推進と、地域における土地と水の調整機能を十分に発揮できる組織体の実現を目指し、「三種川水系地区土地改良区統合整備推進研究会」を発足しているが、賦課金の格差問題等、様々な課題があった。

しかし、統合整備による合理的で且つ財政的に安定した土地改良区運営が必要であるとの強い認識のもとに、それぞれの課題を克服し、「三種川地区土地改良区合併推進協議会」において統合整備計画等の協議が重ねられた。

調印式は、両土地改良区役員や町・県の関係者を含めて約60人が出席し、合併推進協議会会長を務める三浦三種町長が「土地改良区には規模拡大や低コスト化、豊かな環境保全への役割も求められている。合併を機に、合理的で財政的に安定した運営、組合員へのきめ細かなサービスによって地域農業の振興に貢献されることを期待している」とあいさつ。三浦町長の立ち会いで、両理事長が予備契約書に署名、押印した。両土地改良区は、3月26日までに総(代)会での議決を得ており、現在、合併認可申請に向けた設立委員会開催の諸準備を行っているところで、今年、11月1日の合併を目指すこととしている。

合併後は、面積1,062ha、組合員622人で、ともに町内4土地改良区で最大となる。



全国水土里ネット

第53回通常総会

本会・高貝会長が理事に再選される。

3月29日、都市センターホテル(東京都)で、各都道府県水土里ネットの関係者等が出席して、全国土地改良事業団体連合会第53回通常総会が開催された。

総会は、提出議案の平成22年度事業中間報告、同収入支出補正予算、平成23年度事業計画、同収入支出予算などの審議が行われ、いずれも原案どおり承認・議決された。

また、任期満了に伴う役員選任が行われ、本会の高貝会長が理事に再選された。

■平成23年度事業計画〔重点項目〕

- ①食料自給力向上に資する農地の確保と高度化の推進
- ②継続的な農業生産の礎となる土地改良施設の計画的な更新整備
- ③土地改良施設の適正な維持管理体制の充実強化と多様な主体の参画促進
- ④水土里ネットの、時代に応じた役割と使命の在り方の検討
- ⑤食料基盤の確保と農村地域資源の保全等に係る国民合意に向けた広報活動の推進

第52回全国土地改良功労者表彰 平成22年度農業農村整備優良地区コンクール

■第52回全国土地改良功労者表彰 本県3団体4個人が受賞決定

全国土地改良功労者表彰は、永年にわたり土地改良事業に尽力され、功績が認められた土地改良関係者（優良団体・個人）が表彰されるもので、本県関係として、今回は、全国水土里ネット会長表彰・金章の戸村土地改良区を始め、3団体4個人の受賞が決定した。

表彰は、例年であれば全国水土里ネット通常総会と同日に行われているが、今回は、「東日本大震災」での未曾有の被害等を考慮し、5月下旬に行われる予定である。

〔優良団体表彰：水土里ネット会長表彰〕

◇金章 戸村土地改良区

◇銀章 能代南土地改良区、秋田市孫左衛門堰土地改良区

〔個人表彰：水土里ネット会長表彰〕

◇鈴木 清（男鹿東部土地改良区理事長）

◇日野隆悦（稲川土地改良区事務局長）

◇小林勇一（大仙市神宮寺松倉堰土地改良区事務局長）

◇齊藤昭憲（大潟土地改良区事務局長）

※個人表彰（職員）における職名は、受賞決定時のもの

■平成22年度農業農村整備優良地区コンクール(農林水産大臣表彰)に、「仙北平野豊川土地改良区」が決定

農業農村整備事業を契機として、効率的かつ安定的な農業経営を行い、生産性や収益性の高い農業を積極的に展開している地区を表彰する、平成22年度農業農村整備優良地区コンクール（農業生産基盤整備部門）において、最上位のランクである「農林水産大臣表彰」受賞に「仙北平野豊川土地改良区」が決定した。

表彰は、震災を考慮し、全国土地改良功労者表彰と同日に行われる予定である。

■土地改良事業地区営農推進優良事例表彰(農村振興局長表彰)に、「樽見内営農組合」が決定

国営土地改良事業を実施中又は完了している地区において、事業の実施を通じて、産地形成や優れた営農の定着等の成果がみられる先進的な団体の事例を顕彰し、広くその成果を普及するために行われている「土地改良事業地区営農推進優良事例表彰」の、平成22年度「農村振興局長表彰地区」に、「国営かんがい排水事業平鹿平野地区」の受益地内の「農事組合法人・樽見内営農組合」が決定した。

表彰は、震災を考慮し、表彰状の送付をもって行われる予定である。

平成22年度農地集団化優良地区表彰

「堀板地区」が全国農地集団化協議会長表彰を受賞

農用地等の集団化事業を実施した地区で、その成績優良が他の模範となる地区(換地業務の委託を受けている団体)等を表彰する、平成22年度の東北農業農村整備推進協議会(農地集団化促進部会)優良地区表彰について、本県関係分として、全国農地集団化協議会長賞の1団体、東北農業農村整備推進協議会長賞の4団体が決定した。

表彰は、大震災を考慮して、表彰状と記念品が郵送される予定である。

■全国農地集団化協議会長表彰

「堀板地区」(大仙市仙北総合支所)

■東北農業農村整備推進協議会長表彰

「糸流川地区」(琴丘土地改良区)

「花館地区」(秋田県仙北平野土地改良区)

「六郷西部地区」(仙北郡六郷町土地改良区)

「里見地区」(おものがわ土地改良区)

平成23年度土地改良事業振興基金制度のご活用を！

本会会員が土地改良事業を円滑に推進するため、補助金・公庫資金・賦課金等の受領までに一時的に必要となる「つなぎ資金」を、低利かつ速やかに融資することを目的としており、平成23年度は以下のとおりとなりますのでご活用下さい。

〔債務保証限度、期間及び負担利子計画〕

資金別	保証限度	保証期間	借入利率	利子補給率		借入 団体負担	
				借入10,000 千円迄	借入10,000千円 を超えた部分		
災害応急資金	出資金額の 10倍	12ヵ月以内	1.940%	1.415%	0.7075%	利子補給 以外を負担	
補助金	出資金額の 30倍	6ヵ月以内	1.940%	1.415%	0.7075%		
農林漁業資金	出資金額の 30倍	3ヵ月以内	1.940%	—	—	1.940%	
災							0.75~1.60%資金
非							1.50%資金
団							1.50%資金
県	1.65%資金						
団体運営資金 (賦課金)	出資金額の 10倍	8ヵ月以内	1.940%	1.415%	0.7075%	利子補給 以外を負担	

注) 10,000千円迄の借入は、借入団体0.525%の負担

【取扱金融機関】北都銀行本店

【申込窓口】総務企画部広報・渉外班 TEL.018-888-2742

平成23年度 秋田県関係機関の紹介

秋田県は4月1日付けで、平成23年度定期人事異動を発表しました。農林水産部及び各地域振興局の関係機関の主な担当者は次の通りになりましたのでお知らせします。

【秋田県農林水産部】

部長・次長・参事・課長等の紹介(H23.4.1現在)

部長	三浦 庄助
森林技監	猪島 康浩
農林水産技術センター所長	菅原 仁司
次長	藤井 英雄
次長	鈴木 誠
次長	沓沢 了介
次長	清野 弘久
参事	金澤 千昭
参事(兼)農地整備課長	難波 和聡
参事(兼)森林整備課長	宮崎 一彦
参事(兼)園芸振興課長	田中晋太郎
農林政策課長	照井 義宣
農林政策課政策監	森屋 哲次
団体指導室長	栗林 勉
農地整備課政策監	藤原 隆則
農山村振興課長	保坂 龍弥
農山村振興課政策監	藤原 元吉
流通販売課長	草薨 作博
水田総合利用課長	佐藤 博
畜産振興課長	土田 正広
水産漁港課長	中村 彰男
林業木材産業課長	福井 敬二
林業木材産業課政策監	阿部 雅弘
農林水産部課長待遇	
・秋田県土地改良事業団体連合会派遣	石井 正幸
・秋田県農業公社派遣	草薨 睦雄
・秋田県農業会議派遣	目黒 久彦

【県地域振興局】

各地域振興局長及び農林部長名等は次のとおり。

[鹿角地域振興局]

◇局長：武田恭彦 ◇農林部長：倉部明彦

[北秋田地域振興局]

◇局長：長谷部勝 ◇農林部長：渡辺兵衛

[山本地域振興局]

◇局長：菅原徳蔵 ◇農林部長：小川 正

[秋田地域振興局]

◇局長：森田新一郎 ◇農林部長：菊子正稔

[由利地域振興局]

◇局長：伊藤邦夫 ◇農林部長：菊地正隆

[仙北地域振興局]

◇局長：伊藤 淳 ◇農林部長：伊藤盛徳

[平鹿地域振興局]

◇局長：菊地嘉武 ◇農林部長：柳原 守

[雄勝地域振興局]

◇局長：大塚行雄 ◇農林部長：金多喜夫

【その他関係部署】

生活環境部

八郎湖環境対策室長 下山 昇

建設交通部

技術管理室技術管理監 松橋 久光

出納局

参事 佐々木次郎